

患者さんに信頼され親しまれる病院を目指した医療を行います

重工記念長崎病院 広報誌

# Harmony

Vol.  
75

Communication Magazine.2023 [ハーモニー]



**特集** 重工記念長崎病院

## 病院長・各部門ごあいさつ

シリーズ [診療科・部署紹介]

## 感染対策室のご紹介

訪問診療スタッフによる  
新シリーズスタート!! 訪問診療日記

当院の  
年男・年女を  
迎えた卯年の  
スタッフです!!

# 2023



# 本年も重工記念長崎病院を よろしく願いいたします

## 【病院長のごあいさつ】

新病院移転後4年目の春を迎えようとしています。新病院の景観は高く評価されており、2020年は優秀な照明施設を表彰する「照明普及賞」を受賞し、2022年には周囲の街並みと調和するレンガ壁や白く浮かび上がる客船のような上層部など、みなとまち長崎らしい景観形成への寄与が評価され「長崎市都市景観賞」を受賞しました。昨年はコロナ禍で中止されていた「ながさきみなとまつり」が3年ぶりに開催され、新病院移転後初めての花火を病院から見る事ができました。眼前一杯にひろがる花火は見事で、新しいビューポイントになりそうです。

さて近年、ワークライフバランスという言葉をよく耳にしますが、ワークライフバランスとは、「仕事と生活の調和」と訳される言葉です。内閣府のサイトによると「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」と定義されています。当院では働きやすい職場作りへの取り組みの一環として、女性の仕事と育児・家庭の両立をめざして院内に「スマイル保育園」を開設しており、夕食・お風呂付きの20時までの延長保育や英語教師の常駐により自然と英語に触れあえる取り組みなど、安心してお子さんを預けられる環境を整えています。子育て中の女性職員の方も安心して仕事に頑張れると思います。

開設以来127年、長く培ってきた歴史と伝統をさらに進化させ、新病院移転後も皆様のご期待に沿える様取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

重工記念長崎病院  
病院長  
矢部 嘉浩  
Yoshihiro Yabe



## 各部門より 年頭の抱負とごあいさつ



副院長  
野元 健行

昨年はFIFAワールドカップでの日本チームの活躍がみられ、ドイツ・スペインという強豪に対しても、監督の指揮下にチーム一丸で撃破するという盛り上がりで、1年を締めくくることができました。これからの医療は、地域社会にも目を向け、何事に対しても切り抜けるための創意工夫やチーム力が大切ではないでしょうか。地域社会の問題にも取り組む病院となるように努力していきます。



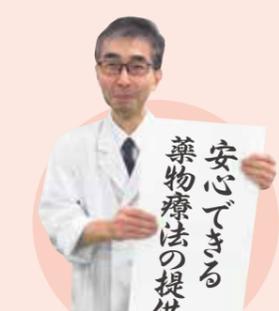
事務部長  
小野 治

今年も次の2つのことに挑戦します。1つは七高山巡り。江戸時代から続く長崎の年中行事で、正月に市街を囲む7つの山(寺)を巡り歩きます。体力の衰えに抗いながら今年も挑戦します!もう1つは1年間に50冊の読書。自分が読みたいと思った本を自分のペースで毎日少しずつでも読み進めていくのはすごく楽しいことです。今年も好奇心の灯を燃やし続けます!



看護部長  
峯 麻紀子

昨年は看護部新体制となるなか、同時に新型コロナウイルスの第6波～8波流行があり怒涛の一年を経験しました。昨年を教訓に、今年の目標を漢字一文字で「躍」と掲げたいと思います。看護部の理念「思いやりのある看護」を軸に、看護師一人ひとりが目標を持ち、やりがいを感じながらキラキラと働き続けられる職場環境づくりに重点を置き、干支の「兎」のように「飛躍」「躍動」「活躍」「躍進」できる看護部を目指します。



薬剤部長  
山本 稔

昨年は、新型コロナウイルス流行の継続、ロシアとウクライナの戦争、近年稀にみる円安やインフレなど、暗い話題が多い一年でしたが、ワールドカップサッカーにおいて、欧州の強豪国を打ち破ったサムライブルーの選手の活躍は、明るい話題でした。「コロナとの共存」の時代は当然続きそうですが、ワクチン接種や治療薬の開発も進んでおり、少しでも日常生活の制限が緩和される方向に進んで行くことを願っております。また、国内の医薬品供給不足も深刻な問題となっており、ご心配をおかけしていること存じます。皆様に安心して薬物療法を受けていただけるよう、必要な薬剤の確保、処方調整に全力で努めて参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



医療技術部長  
池田 章子

医療技術部は、リハビリテーション科・放射線科・臨床検査科・眼科のスタッフで構成される専門職集団です。医療技術の進歩はめまぐるしく変化しております。最新の情報を入手できるよう日々研鑽し、知識・技術の修得に励んでまいります。人生100年時代における地域の皆様の健康寿命の延伸をお手伝いすべく、常に「笑顔で挨拶」を心がけてまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



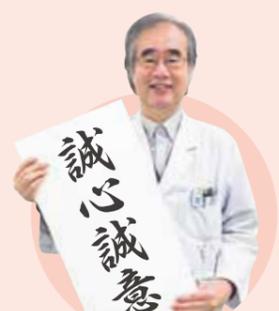
医局長・放射線科部長  
林田 毅

近年、かかりつけ患者さんの高齢化や近隣の診療所の閉院、新型コロナウイルスの感染拡大により受診困難な患者さんが増加し、在宅医療の必要性がこれまで以上に高まっています。当院は訪問診療や訪問看護に積極的に力を入れており、緊急時の往診や入院にも患者さんやご家族が安心して満足していただけるよう体制を整えています。これからも新しい生活様式に合わせ、皆様に満足していただける医療を提供していただけるよう医師、メディカルスタッフ全員で取り組んでいきたいと思っております。



感染対策室 室長  
笹崎 佳代子

昨年の新型コロナ感染症の第7波では、陽性者が過去最多となり、当院では感染対策を強化しながら対応いたしました。患者さん、ご家族の皆様、職員の皆様にはご不便をおかけしましたが、多大なご協力を賜り心より感謝申し上げます。変わりゆく感染症への対応には課題が尽きませんが、変化を前向きに捉えて柔軟に対応できるよう、「レジリエンス」の心で、役割を發揮したいと考えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



健診センター長・内科部長  
馬詰 裕之

昨年に引き続き、受診された皆様の健康づくりに貢献できるよう努めて参ります。今年も宜しくお願い申し上げます。



医療安全管理室 室長  
佐藤 亜希子

当院には各部署にリスクマネージャーという医療安全に携わる職員がいます。そのメンバーで毎週医療安全に関する検討会を行い、環境やシステム、対応などの改善を行っております。また、患者さんやご家族からの当院に対するご意見の対応もしております。我々では気が付かないご意見に、反省と共に学ぶことも多々あります。患者さんの視点で現状を見て、考え、安心して安全な医療を提供できるよう、今後も取り組んで参ります。



地域連携室 室長  
君野 真由美

日頃より、医療機関・各関係機関の皆様におかれましては沢山のご紹介をいただき誠にありがとうございます。また、紹介窓口と同様に地域連携室の大きな柱である退院支援につきましては、コロナ感染拡大の折、入院中の面会制限もあることから、在宅療養のニーズが高まっております。少しでも元の場所での生活できるよう、私ども地域連携室スタッフ一同、通り一歩ではなく、創意工夫をしながら色々な引き出しを持ち支援して参りたいと思っております。医療・介護事業所の皆様との連携もリモート等の活用が日常化している昨今ではありますが、簡略化、短縮化のみに終始せず、血の通った「温かみのある支援」を心掛けて参りたいと思っております。



医療情報室 室長  
原田 純子

医療情報室は「医師事務作業補助」と「診療情報管理」の2つの部門があり、病院の裏方的な存在です。医療情報室のミッションは医師をはじめとした医療職が専門性を發揮できるように「支える」こと。結果として質の高い医療を患者さんに提供できるように日々サポートしています。医療を取り巻く環境は刻々と変化します。今年はさらに変化をキャッチして対応することで医療現場を「支えて」いきたいと思っております。



放射線科 技師長  
稲形 正芳

新病院に移設し、多くの放射線機器も更新され早くも3年が過ぎようとしています。この間、コロナ禍によりワークフローも変化し、以前では想定していなかった検査毎の消毒等も加わり、業務が慌ただしく過ぎていきました。今年は、新規導入された各装置の操作を見直し、更に精通し、より良い画質、より低被曝、短時間で患者さん、依頼いただく先生方へ貢献出来る様に取り組んでいきます。



栄養管理室 室長  
今井 智恵美

昨年は、喜んでいただける食事提供を目指して、メニュー改革に力を注いだ一年でした。おかげで「おいしくなったね」との声が多くなりスタッフ一人一人の努力と工夫が実ってきたと思います。しかし、まだまだです。おいしいものを食べた時の笑顔は本人だけでなく周りの人も幸せな気持ちにしてくれます。そんな幸せな気持ちをみなさまに届けられるよう、さらに「おいしい食事」に向けてアイデアを出し合っていきます。



リハビリテーション科 技士長  
篠原 晶子

今年のリハ科のモットーは「笑顔」です。患者さんそしてスタッフ同士を笑顔でつなぎ、「選ばれたリハビリテーション科」を目指し信頼される病院づくりに努めてまいります。今年もよろしくお願い申し上げます。



健康サポート室 室長  
白倉 美香

健康サポート室では、主に糖尿病・高血圧・脂血症・睡眠時無呼吸・骨粗鬆症などに対応しています。昨年は世界糖尿病デーに合わせ11月にイベントを開催いたしました。健康相談や血糖測定などを行い多くの方に参加していただきました。今年もパワーアップしたイベントを実施したいと思っています。昨年より特定行為看護師を目指し勉強しています。今年は特定行為看護師になり今まで以上に患者さんのことを考えていきたいと思っております。



訪問看護ステーション 副院長  
川向 真弓

訪問看護を立ち上げて一年が経過しました。少しずつ訪問件数が増え、現在利用者は約50名、1か月で約280件訪問しています。自宅では入院中には見られなかった家族との会話や笑顔を見ることが出来ます。今年も家族・当院スタッフだけでなく、主治医・ケアマネなど多職種との連携によるチームケアを大切に、住み慣れた地域でその人らしく生活が出来るよう支援していきたいと思っております。本年もよろしくお願い申し上げます。

Series  
診療科・部署  
ご紹介

Department introduction

## 感染対策室



感染対策室は、患者さん、すべての来院者そして医療従事者を院内感染から守ることを目的に設置されています。当院では、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の4職種7名で構成されており、看護師1名が専従で勤務しています。

### 感染対策室の目標

1. 院内感染を未然に防ぐこと、2. 感染を拡大させないこと、3. 適切な抗菌薬治療を推進することです。これらの目標に合わせ、ICT(感染対策チーム)と、AST(抗菌薬適正使用支援チーム)の二つのチームが院内で活動しています。

### チームによる活動

ICTは、1回/週、院内環境の巡視(院内ラウンド)を行っています。ラウンド結果は良い点も改善が必要な点も写真に残し、職員一同で共有しています。また、全職員を対象とした院内研修の開催や各部署への教育支援を行っています。ASTは2回/週程度、患者さんの状態に合わせた抗菌薬治療に関する提案や必要な検査のタイミング等の助言を行っています。

### 地域や多職種との連携

当院は、近隣の医療機関と連携し、年4回の合同カンファレンスの開催や相談対応を行う役割を担っており、地域における感染対策向上を目指しています。感染対策はチーム医療ですので、患者さん方や職員の皆様のご理解とご協力がとても重要です。今後も安心して来院いただけるよう、より質の高い感染対策を推進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



# 訪問診療 日記



その1

訪問診療での  
想いやエピソード  
などをご紹介します

坂の町長崎ですが、当院も長崎市内有数の坂の町に隣接しています。

坂の町ならではの市内3か所に設置されている斜面移送システムが往来する町なのです。

訪問診療医・看護師もこの道を「よしよよしよ」と踏みしめながら患者さんのお宅まで登っていきます。猛暑や雨降ることもありますが、患者さんの笑顔を思い浮かべながら歩みを進めていきます。訪問診療は時にしんどいけれど、受診ができない患者さんと医療をつなぐ唯一の方法なのですから、「やりがいと使命に燃える!」重工病院訪問スタッフなのでした。



## 定期的にご自宅を訪問して診療いたします

### このような お悩みに

- 1人での通院が困難になってきた
- 通院時など、家族の負担を軽くしたい
- 入院生活から自宅での療養に切り替えたい
- けが・病気(がん等)により寝たきりになってしまった
- 在宅酸素療法を利用している など

### 主な 診療内容

- 血液検査・尿検査
- 外傷・褥瘡処置
- 点滴、注射、中心静脈栄養
- 在宅酸素療養
- 経管栄養
- 人工呼吸器管理
- 緩和医療、自宅での看取り など

● お問い合わせはこちらまで ●

重工記念長崎病院

訪問診療

☎ 095-801-5707



11月14日・世界糖尿病デー

## 「重工病院糖尿病デー」開催!!

世界の糖尿病人口は5億3,700万人に上っており、日本においても、糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人の合計は約2,000万人に上ると言われており、早急な対策が必要だといわれています。

このような状況を踏まえ、「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」が2006年12月20日に国連総会議で採択され、同時に11月14日を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を推進することを呼びかけられるようになりました。11月14日は日本糖尿病学会、日本糖尿病協会が中心となって、各地で著明な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動を実施しています。そこで、当院でも11/14~11/18まで重工病院糖尿病デーを開催いたしました。

当日は、医師や看護師による健康相談・血糖測定・動画放映を行いました。5日間で約150名の参加があり盛況のうちに終了することができました。来年はさらにグレードアップしていきたいと思っています。



## NEW FACE 新任ドクターのご紹介

歯科口腔外科 医師  
山下 健太郎



2022年11月より歯科・歯科口腔外科に勤務させていただくことになりました山下健太郎です。以前は大学病院にて口腔外科の仕事を行っていましたが、ここ2年間は東京の方の開業医にて一般歯科治療を行っておりました。このたびは、長崎に帰ってくるにあたり歯科・歯科口腔外科の部長である六反田先生に声をかけていただき勤務させていただくこととなりました。以前、長崎大学病院口腔外科入局後に六反田先生を含みます先輩方へ外来における業務、および病棟管理等をご指導いただき勉強させていただき、次に勤務させていただきましたお茶の水にございます順天堂大学医学部附属順天堂医院では、得ることのできた知識を使い病院歯科にて治療にあたることができ、感謝しております。また、7月より勤務されております中村先生には当科での業務内容、書類内容等を教えていただき至らぬ点のフォローをしていただき、こちらも大変感謝しております。本院の歯科部門の歯科衛生士さん、歯科助手さんも大変優秀な方々で慣れない環境の中大変助けていただき素晴らしい職場であると日々感じております。

他部門にも至らぬ点でご迷惑をおかけするかもしれませんが、日々精進していきたいと思っておりますので皆様、何卒よろしくお願いたします。

## 令和4年度「ながさきヘルシーアワード」継続部門において表彰状をいただきました！

健康づくりに取り組む企業を表彰する長崎県の制度「ながさきヘルシーアワード」にて、昨年度実践部門賞を受賞いたしました。昨年度に引き続き、今年度の継続部門に応募し表彰状をいただきました。当院の主な取り組みとして、Nチャレンジ(昨年度に引き続き2回目の開催でした)。N-CHAT(長崎県が提供する健康管理アプリ)へ職員が日々運動した時間を入力し上位入賞者や達成賞者を表彰しモチベーションアップを図っています。

当院の参加者数は179名、達成賞対象者は84名でした。  
昨年度より多くの方に参加いただき、また達成賞獲得された方も増えました。  
10位までの方には表彰・記念品としてご当地グルメが贈呈されます。



令和4年10月～11月の合計時間1位/当直・藤本 吉通さん。  
ウォーキングや農作業など毎日1時間半～3時間実施しています。

## 院内研修会を開催しました

11月5日当院6階会議室にて院内研修会を開催しました。6部署、10演題が集まり、日頃の取り組みなどを発表しました。今年の最優秀賞は看護部の3階病棟下看護士の「終末期の意思決定・在宅療養支援へ向けての多職種連携」でした。年に一度の院内研修会ですが、各部署より創意工夫をこらした取り組み、研究を聞き良い学びとなりました。今回学んだことを日頃の業務に活かしより良い病院づくりに努めていきたいと思っております。



保険証の代わりにマイナンバーカードで!!

## マイナ受付に対応しました

当院は昨年10月より、保険証の代わりにマイナンバーカードで診療を受けられる「マイナ受付」に対応しております。保険資格確認や高額療養費などの手続きが簡略化されますので、ぜひご利用ください。

### おもなメリット

- 高額療養費支払の際、「限度額適用認定証」なしで限度額を超える一時的な支払いが免除されます。
- 転職や結婚などで保険証が変わる際、新しい保険証の到着を待つ必要がありません。

※「マイナ受付」のご利用には、マイナンバーカードの健康保険証利用申込が必要です。  
※各種公費負担医療制度をご利用の場合は「マイナ受付」の対象外です。  
従来通り窓口で保険証を確認させていただきます。



詳しくはこちらの「デジタル庁特設ページ」をご覧ください!!

## スマイル保育園に 矢部病院長サンタがやってきた!

昨年クリスマス、院長サンタがやってきました。サンタさんの年齢や住んでいるところ、どうやってきたのか?と様々な子どもたちの質問にも答えさせていただきました。一人ひとりに絵本を一冊ずつプレゼントして頂き、保育園でみんなで遊べるようにパズルも届けて下さいました。小さい子はサンタさんを見て驚き、少し泣いたもののプレゼント欲しさに涙もすぐに止まってサンタさんと一緒に記念撮影もできました。



COLUMN

\*病院\*



● 今回のさるく人

外来 泉川 早紀

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。私の実家では毎年、餅つきを行います。これは、私が小さい頃からずっと続けている我が家の行事です。餅つきといっても杵と臼を使う餅つきではなく、もち米を窯で蒸した後は餅つき機で餅を作ります。小さい頃はかんころ餅も作っていましたが、最近は白餅とあんこ餅のみ作っています。もち米から柔らかくて丸いお餅ができるまでの工程を見せる貴重な体験となり、子供たちも喜んでお手伝いしてくれます。出来立てのお餅は柔らかくて、つつい食べ過ぎてしまいます。今年も無事、餅つきが終了し、良い新年を迎えられそうです。



外来診療の  
ご案内

	午前	午後
診療科	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付 新患/8:30~11:00 (内科・歯科口腔外科は11:30)</li> <li>再 来/8:30~11:30 (内科・歯科口腔外科は12:00)</li> <li>土曜日/8:30~11:00</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●受付 新患・再来/13:00~16:00 (耳鼻咽喉科は13:00~15:00)</li> </ul>
内科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日)	— (一部予約診療あり)
外科	木曜日・土曜日(第4土曜日) ※乳がん検診 水曜日(9:30～)・金曜日(10:00～)	月曜日
整形外科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日)	—
骨粗しょう症外来	—	火曜日・水曜日(13:30~16:30)(予約制)
眼科	月曜日～金曜日(予約制)	—
婦人科	月曜日・火曜日・水曜日・金曜日	—
耳鼻咽喉科	月曜日～金曜日・土曜日(第2土曜日)	月曜日・火曜日・木曜日・金曜日
泌尿器科	月曜日・水曜日・金曜日	—
皮膚科	火曜日	木曜日(13:30~16:00)
形成外科	—	月曜日(13:30~16:00)
歯科・歯科口腔外科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日) (予約制)	月曜日～金曜日(予約制)
人間ドック科	月曜日～金曜日(予約制)	—
禁煙外来	—	火曜日(15:00~16:00)(予約制)
渡航外来	月曜日・火曜日	—

◎お問い合わせ/TEL.095-801-5800(総合受付) TEL.095-801-5517(地域連携室)  
※その他、出張等により休診となる場合がございます。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
冬を迎えたと思った途端、年を越しておりました。  
さて、新年といえば重工病院広報紙恒例となりました年男、  
年女の干支にちなんだ表紙と各部署所属長のご挨拶ですが、  
本年も各部署の意気込みや思いを掲載しております。  
また今話題のマイナ受付をスタートしておりますので合わせ  
てご一読下さい。  
皆様におかれましてはすばらしい1年となりますよう心から  
お祈り申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

[編集スタッフ] 宮村・上妻・福田・平田・森川  
松尾・前田・林田・君野・吉岡



〒852-8004 長崎市丸尾町6番17号  
TEL 095-801-5800(代) FAX 095-801-5803  
TEL 095-801-5517(地域連携室)  
発行元: 重工記念長崎病院長 矢部 嘉浩

◎重工記念長崎病院のHPもご覧ください

重工記念長崎病院

検索

<https://www.jmnh.or.jp/>



QRコード

